

校長挨拶

～生徒の多様性に応える学校～



校長
細貝 雅之

大子清流高等学校の「スクールガイド2024」をご覧ください、ありがとうございます。

本校は、長い歴史を持つ、大子第一高等学校と大子第二高等学校の伝統と精神を受け継ぎ、2004年4月に誕生した、開校20年目の学校です。「農林科学科」と「総合学科」という二つの学科により、生徒の多様な学びを実現しています。

「農林科学科」では、1年次は農業と林業の基礎を学び、2年次以降は「農業科学コース」と「森林科学コース」に分かれて専門性を深めます。専用の農場や演習林での実習・演習を通して、専門的な知識・技能だけでなく、自然の素晴らしさや生命の尊さ、収穫の喜びなどを学びます。専門科目の中には、地元の特産品である奥久慈しゃもの飼育や、スマート林業の実現に向けたドローン資格取得講習、きのこの原木を利用したオオクワガタの飼育など、ユニークなものが数多くあります。将来の進路は、専門性を生かした就職のほか、大学・専門学校等への進学にも対応しています。なお、農林科学科は生徒の全国募集を行っており、県外及び県内遠隔地からの入学生も受け入れています。その場合、住宅の斡旋や住宅費の補助等、地元の大子町からの支援を受けることができます。

「総合学科」では、1年次は全員共通の授業を受け、2年次以降は進路希望や興味関心に応じて「人文科学」「自然科学」「福祉」の3系列に分かれて学びます。大学や専門学校への進学、公務員、民間企業への就職等、幅広い進路希望を実現するため、少人数授業、課外授業等を実施するとともに、1年次から3年次まで系統的なキャリア教育をおこなっています。「福祉系列」では町内の福祉施設の協力で充実した施設実習をおこない、実務者研修の資格を取得することができます。

グローバル化に対応した国際教育にも力を入れています。大子一高時代から続く「タイ王国カセサート大学附属高等学校」との相互訪問は、コロナ禍での中断を乗り越えて今年度再開する予定です。また、「ワールドキャラバン国際理解教育」も積極的に推進しており、社会性を育み広い視野を身につけることができます。

地元の大子町とは人材育成や地域活性化等のための連携協定を結び、国際交流、学力向上（Classiの活用、英語検定試験）、給食提供等の手厚い援助を受けています。学校からは、町の観光事業等へのボランティア協力や、魅力的な町づくりへの提言などを行っています。また、大子町は今年度新たに、主に本校生徒の自律型学習や探究活動等をサポートする公営塾を開設する予定です。

このように本校では、地域のさまざまな支援を受けながら、生徒一人一人に寄り添いきめ細かな教育を行うことで、将来、それぞれの分野で活躍し社会に貢献できる、心豊かで活力ある若者を育てたいと考えております。ぜひ、皆さんの夢の実現に向けた第一歩を、この大子清流高校で踏み出してください。

生徒会長からのメッセージ



生徒会長
大高 夢来純
(3IB・大子中)

大子清流高校には、専門的な技術を身に付けられる農林学科と、就職と大学進学どちらにも対応した学習のできる総合学科の二つがあります。自分の夢や目標が決まっている人もいない人も、幅広い学びができます。また、それを親身になってサポートしてくれる様々な分野の先生方がいて心強いです。お互いに切磋琢磨し合える仲間もいて、勉強が辛くて心が折れそうなときでも助けられて頑張れています。